



道徳教育研究推進プロジェクト

「教育現場」に資する研究活動をめざして

道徳科学研究所 主任研究員  
道徳教育研究推進プロジェクトリーダー

江島 顕一

道徳科学研究所（道科研）において、今年度より発足した道徳教育研究推進プロジェクトは、研究活動の重点三分野の一角を担っています。

一．目的とねらい

家庭・学校・社会における道徳の教育・学習・実践の充実に資する研究を目的とし、関連部署である生涯学習センター、学校教育センターなどとの連携を密接に図りながら、それぞれの課題の改善と教育の促進に寄与する研究をめざしています。

二．メンバー構成

現在の道徳教育研究推進プロジェクトのメンバーは、リーダーを江島顕一（道科研主任研究員）が、サブリーダーを木下城康（同主任研究員）が、コーディネーターを宗像俊輔（同研究助手）が務めています。それぞれ

メンバーの専門分野と昨今の教育動向およびその課題を踏まえながら、今年度は「道徳教育研究会」を二回、「道徳教育コロキアム」を一回開催します。

三．活動報告

直近では、六月九日に第一回「道徳教育研究会」を開催しました。テーマは「学校における道徳教育への貢献に向けた財団としての教育活動の今後——教育者研究会の歴史と展望」で、本プロジェクトの目的である「学校」の道徳教育に焦点を当てた研究会として企画し、関連部署である「学校教育センター」と協働で行いました。

具体的には、モラロジー道徳教育財団の教育活動において長い歴史を有する「道徳教育研究会」（旧・教育者研究会）を取り上げ、その五十七年の歴史を振り返るとともに、

「特別の教科 道徳」が成立し、完全実施を迎えた教育動向の中で、今後の道徳教育研究会の役割と意義を見据える内容の研究会でした。発表者にはリーダーの江島、コーディネーターに学校教育センターの川原容一センター長、道科研の宗中正副所長が登場し、それぞれの立場や視点から道徳教育研究会の展望について対話を行いました。

四．今後の方針

道徳教育研究推進プロジェクトでは、今後は「家庭・家族」の教育に焦点を当て、「家庭教育課」と協働した研究会などを企画していきます。このような関連部署との連携を図るとともに研究・教育の焦点化を通じて、財団の道徳教育にかかわる活動と社会のさまざまな「教育現場」に資する研究成果を上げていく所存です。